



素敵です
どちらも
親の喜ぶ顔
子が喜ぶ顔

親の喜ぶ顔 子が喜ぶ顔 どちらも素敵です

ケース会議をしている時、保護者さんは、我が子の成長している姿やこれからの可能性を担任の先生や通級担当者からの話を聞いていると喜んで笑顔になります。生徒たちは、学んでいる学習内容の知識・技能などが理解できた時、できていなくても認めてくれた時、めっちゃ笑顔になります。

どちらの笑顔も、私は好きです。素敵です。

そんな情報交流する場があり、さらに丁寧に伝えられると実に心地よい気分になります。その笑顔が私の気分を二倍に増幅させます。笑顔という表情・態度が自分の気分/気持ち/感情を安定させる事につながります。

当たり前の話ですが、知っていても実際にそれを武器にできる人は、意外と少ないです。私の笑顔が、周りの人を笑顔にさせることができれば幸いです。でも、今はマスクで覆われているので、目だけです。最近、目尻だけは下がっています。そこを見て、笑顔を想像してください。

愛の原点
本当に
大切なこと
を伝える
笑顔

向いているか向いていないかじゃない。あなたがやりたいかどうか、です。

[エピソード] 教育実習で指導教官から「先生に向いていない」と言われ、落ち込んでいた私に、大学の教授がくれた言葉です。

その後努力して、今は夢だった特別支援学校の教員として働いています。北海道「今は先生」さん(32歳)

私は、教師に向いているかどうかを考えたことはありません。通級の生徒に、私は何の教科を持っていたと思いますか?と尋ねたら、社会 国語 数学……美術 技術家庭……でした。中学校教師15年(保健体育) 小学校の教師11年(全教科) 特別支援教育12年 通級教室3年 教師生活41年でピリオドを打ちますが、きっと大切な人と生き方を学び続けると思われます。